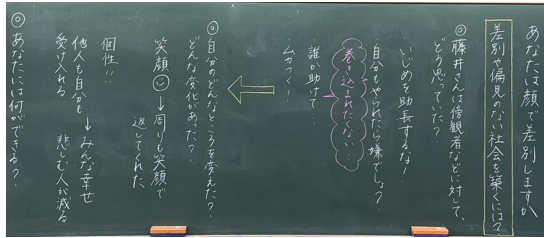


いじめをなくそう仲良し月間(9月)

道徳「テーマ：「あなたは顔で差別をしますか」(3年生)」

生徒たちは「差別や偏見のない社会を築くにはどうすればよいか」を起点に、外見に症状を持つ方が直面する「見た目問題」について話合いました。当事者の思いや傍観者の存在に目を向け、自分の「見る目」を変えることや、お互いの個性を尊重し合うための行動について意見を交わしました。



授業の最後には、「差別や偏見のない、誰もが安心して過ごせる学級にするために自分ができること」として生徒たちから具体的な意見があがりました。差別を他人事ではなく『自分の見る目の問題』として捉え直し、行動に移していくことの大切さを学びました。

自分自身の「見る目」を変える：第一印象や外見で人を判断せず、内面や言葉に耳を傾ける。

傍観者にならない勇気を持つ：嫌がらせやいじめに同調せず、周りと協力して止めたり声を掛け合ったりする。

笑顔と思いやりの連鎖をつくる：互いの個性を受け入れ合い、誰もが自分らしくいられる学級を目指す。